

埼玉県産業労働部観光振興室 との話し合い

一般質問で取り上げた項目について、県の見解を確認するため、中屋敷県議にお骨折りいただき、話し合いの機会をつくっていただきました。

「産業観光」について。

私の一般質問の支柱でもあった件。もともと私の手元に届いた1枚の講演会の案内からはじまったのです。それは、県主催事業で「産業観光」というタイトルの講演会の通知でした。私は「これだ!」と思い講演会に行きました。今後鴻巣を生かす道はこれに絞るべきだと。現状の鴻巣の観光は「イベント観光」と言うことができるほどさまざまな祭りやイベントが市内各地で開催されています。しかし、これは単発であるし、天候に左右されてしまいます。もっと安定した観光を作り出していかなければならない。また、講演会でも言われていた広域連携の観光作り。これは花という題材で鴻巣のポピーと伊奈のバラ園や桶川の紅花をつないでいくなどの事業。お客様に積極的に提案していけるのではないだろうか。このような点について県の見解を求めました。

県の担当部署の方々より

- ★市として観光振興計画
 - ★花を使った菓子作りコンテストなど
 - ★観光都市宣言をする
- などアドバイスをいただきました。

産業観光シーズン到来!

2月～3月にかけては、鴻巣市はまさに産業観光のシーズンと位置づけることができます。

2月17日から3月2日まで開催される

「鴻巣びっくりひな祭り」そして、2月23・24日に開催される「フラワーフェスティバル」です。この期間中には

一般国道17号 上尾道路建設への動き

上尾道路とは、新大宮バイパス宮前インターチェンジ（国道16号との接続点）を起点に鴻巣市箕田の熊谷バイパスに接続する約20kmの荒川に沿って建設される新しい国道です。今後、圏央道が鶴ヶ島から桶川まで延び、この上尾道路と接続する計画が事業化され、建設が進んでいます。

しかし、桶川から箕田の熊谷バイパスまでの区間は計画されているものの、事業化されておらず予算がついていません。現状の17号が桶川～鴻巣間がさらに渋滞することが予測されるため、市議会としてこの計画の事業化を求める取組みを北本市議会とともに始めることになりました。

1月7日に鴻巣市役所において、「上尾道路建設促進議員連盟」の設立総会を開催し、上尾道路事業化の早期実現を求める活動が始まりました。

このことで、流通の発展と同時に県東西の交流が促進され、鴻巣への観光や工場の誘致にも影響を与えることが期待されます。また、救急医療にも時間短縮の点で貢献すると思われます。

※首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は横浜市を基点とし、平成19年度川島まで建設され、将来的にはつくば市、成田市を経由して木更津まで繋がる総延長300kmの自動車専用道路です。

「パンジーマラソン」も開催され、鴻巣に市外から多くのお客様を迎えます。

この機会を最大限に活用し、鴻巣をPRするとともに、大いに盛り上げましょう。

お問い合わせは 鴻巣市観光協会へ